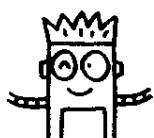


にじょうじょう

二条城は、どんなお城なの



とくがわいえやす
徳川家康が、京都に行ったときの住まいとして建て
たやしきを、いえみつ
家光が広げたお城だよ。

京都市中京区の堀川通りに面した所に、東西約500メートル、南北約400メートルの堀に囲まれた、二条城があります。内部の東側には、二の丸御殿・二の丸庭園があり、西側には、内堀に囲まれた本丸御殿・本丸庭園・天守閣あとがあります。

関ヶ原の戦いの後に、家康が建てた

二条城は、1603年に、関ヶ原の戦いに勝った徳川家康が、京都に行ったときの住まいとして建てました。そのころは、今の二の丸御殿くらいの小さいやしきでした。3代将軍家光のとき、西側をのばして、本丸と内堀をつくりました。その後の将軍は、京都に行く必要がなかったので、1750年の落雷で天守閣が焼けても、1788年の大火で城の一部が焼けても、建て直さなかったのです。

幕末に、大政奉還の舞台となった

1863年、14代将軍家茂が、将軍としては230年ぶりに京都に来てから、二条城はふたたび歴史の舞台となりました。1867年には、15代将軍慶喜が、ここで大政奉還を発表しました。

今は京都市が管理している

1884(明治17)年から宮内庁が管理し、二条離宮と名前が変わって、修理されました。1939(昭和14)年から京都市が管理し、二条城の名前にもどりました。全体は国の史跡に指定され、二の丸御殿の大広間など6むねは国宝、本丸の5むねや、二の丸の唐門・台所など4むね、東大手門などの門、東南・西南のすみにあるやぐらなどは、国の重要文化財に指定されています。